東北地方６県の下水道普及状況（下水道処理人口普及率、下水道雨水対策整備率）及び汚水処理施設整備状況（下水道及びそれ以外の汚水処理施設の整備状況）は以下の通りである。

① 下水道処理人口普及率

東北地方６県の下水道処理人口普及率は、単純平均で約 46%であり、全国平均 63.5%を下回っている。最も普及率が高いのが宮城県の 66.6%（都道府県順全国第 9 位）であり、逆に最も低いのが福島県の 34.8%（同 39 位）である。

② 下水道雨水対策整備率

東北地方６県の下水道雨水対策整備率は、単純平均で約 42%であり、全国平均 50.6%を下回っている。最も整備率が高いのが宮城県の 60.5%（都道府県順全国第 10 位）であり、逆に最も低いのが岩手県の 35.5%（同 40 位）である。

③ 汚水処理施設整備率（普及率）

東北地方６県の汚水処理施設整備率（普及率）は、単純平均で約 59%であり、全国平均 73.7%を下回っている。最も普及率が高いのが宮城県の 75.6%（都道府県順全国第 10 位）であり、次いで山形県が 66.5%（同 21 位）となっている。その他の４県は同程度で、秋田県が 53.8%（同 35 位）、岩手県が 53.2%（同 36 位）、福島県が 52.3%（同 37 位）、青森県が 52.0%（同 39 位）となっている。

東北地方６県の下水道等普及状況

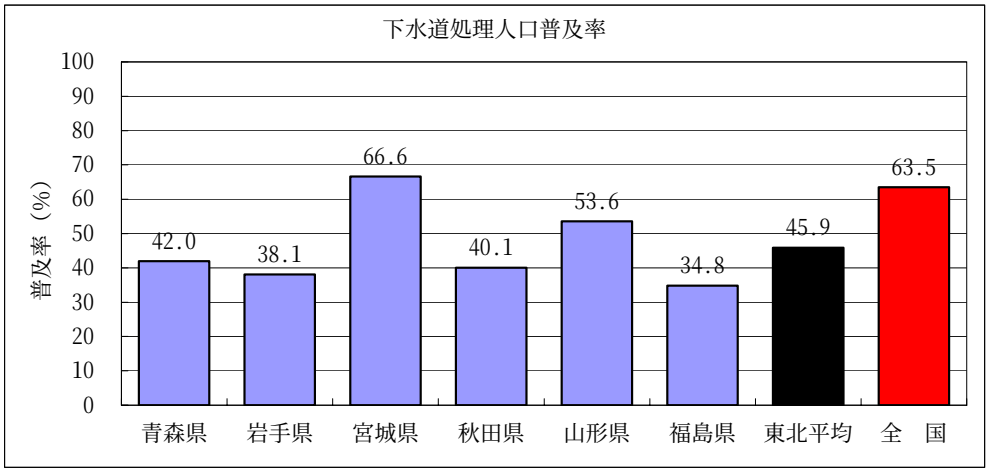
（平成13年度末）

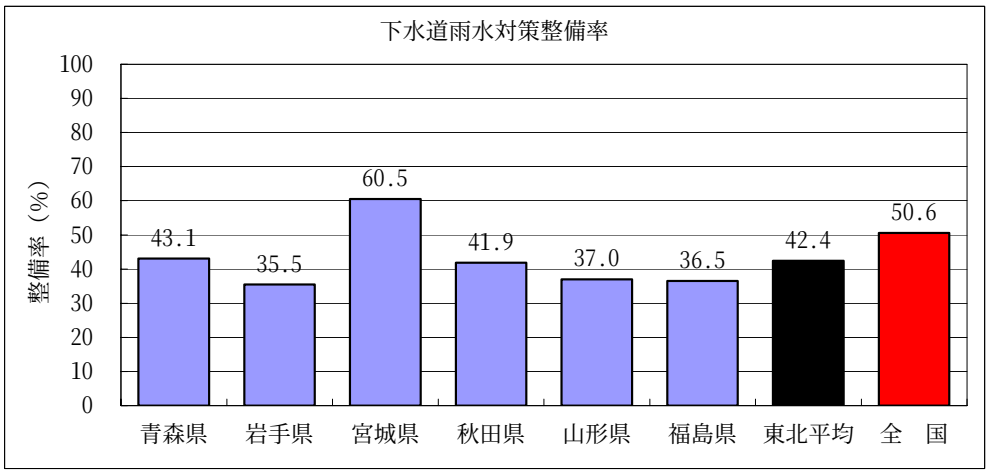
項　目	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	東北平均	全　国
処理人口普及率（%）	42.0	38.1	66.6	40.1	53.6	34.8	41.7	63.5
	(31)	(36)	(9)	(33)	(20)	(39)	-	-
下水道雨水対策整備率（%）	43.1	35.5	60.5	41.9	37.0	36.5	-	50.6
	(22)	(40)	(10)	(26)	(35)	(37)	-	-
汚水処理施設整備率（%）	52.0	53.2	75.6	53.8	66.5	52.3	59.9	73.7
（普及率）	(39)	(36)	(10)	(35)	(21)	(37)	-	-

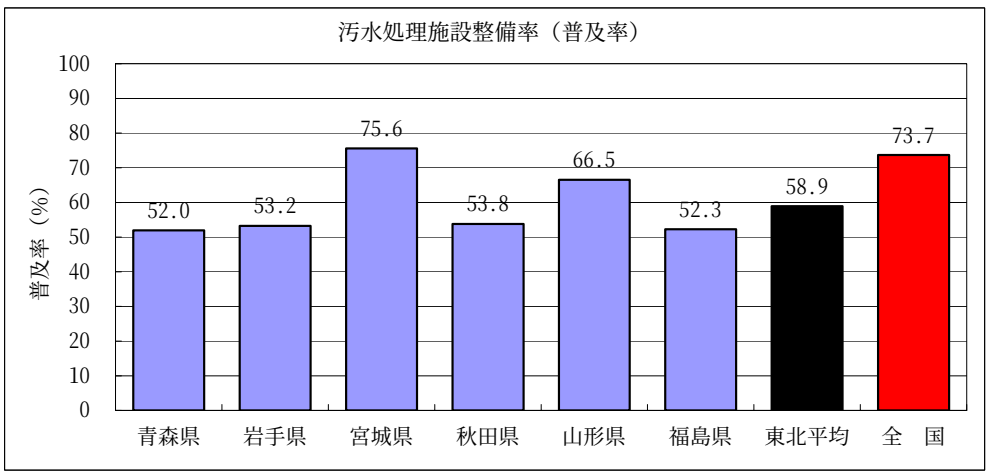
※（　）内の数値は都道府県の順位。

※「汚水処理施設整備率」は、下水道、農業集落排水施設等、合併処理浄化槽、コミュニティプラントの汚水処理施設による整備人口の総人口に対する割合である。

出典：国土交通省ホームページ、東北地方整備局資料







東北地方６県の下水道等普及状況